

「だいち 2 号」観測データの解析による箱根山の地殻変動

陸域観測技術衛星 2 号「だいち 2 号」の観測データの解析では、大涌谷内の非常に狭い範囲で、衛星に近づく地殻変動が見られます。

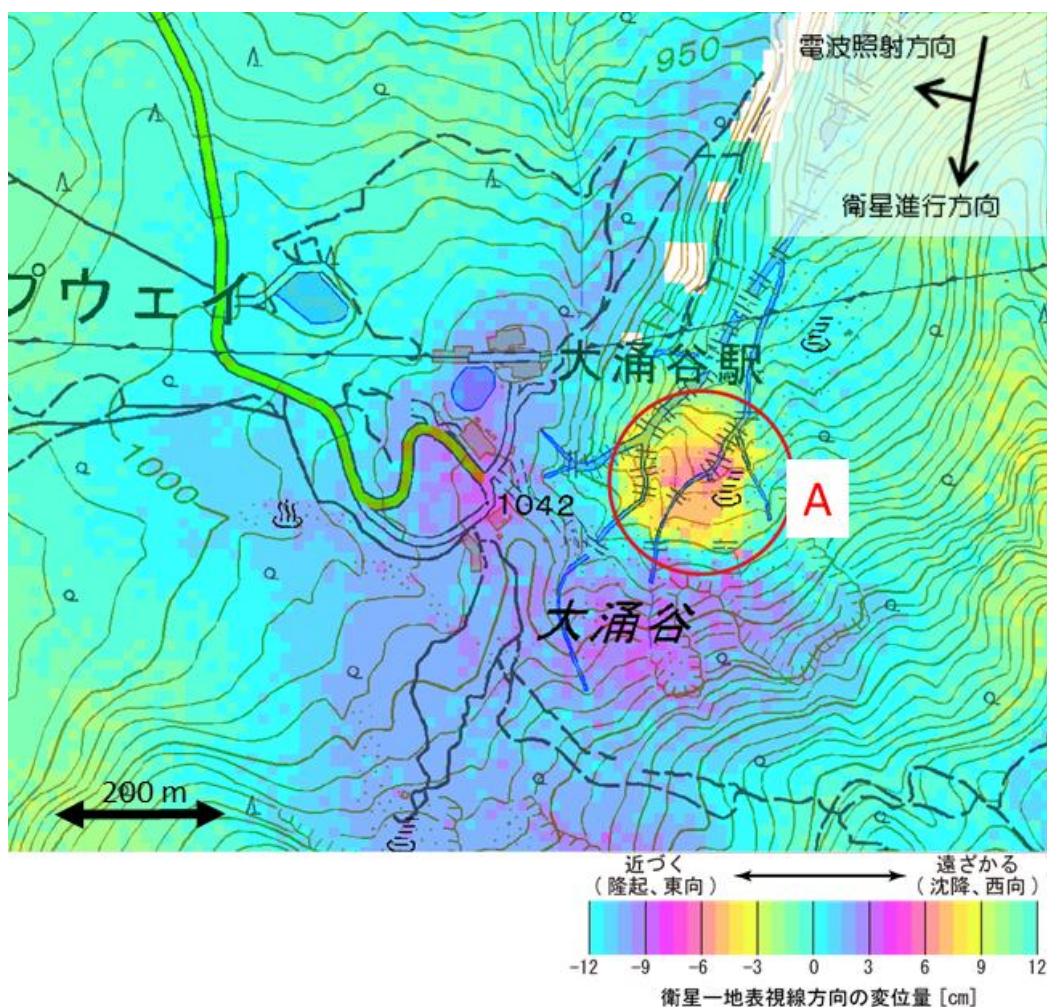


図 1 : 2014 年 10 月 9 日～2015 年 5 月 7 日の解析結果

<解析結果からわかること>

2014 年 10 月 9 日～2015 年 5 月 7 日の観測データの解析では、大涌谷内の直径 200m 程度の非常に狭い領域で、最大 6 cm 程度の衛星に近づく地殻変動が見られました。この変動は、地下の浅い所での膨張をとらえている可能性があります。

なお、2014 年 12 月 12 日～2015 年 4 月 17 日の解析では、このような地殻変動は見られません。

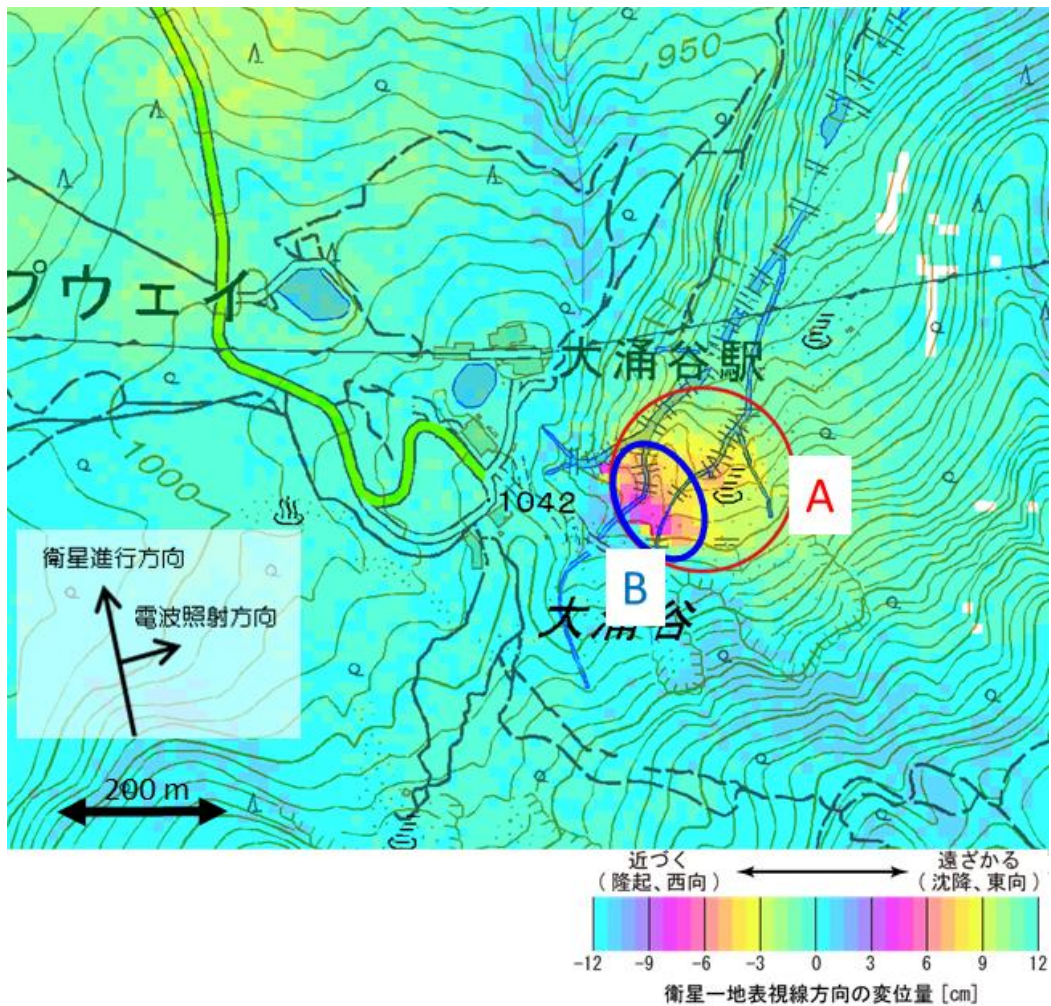


図2：2015年3月1日～2015年5月10日の解析結果

<解析結果からわかること>

2015年3月1日～5月10日の観測データの解析においても、大涌谷内で地殻変動が見られました。変動が見られた領域は、5月7日までの変動領域（領域A）から変化はありません。

領域A内の南西側の領域Bでは、最大8cm程度の衛星に近づく地殻変動が見られました。

(注) 5月7日と5月10日の観測では、電波照射方向が異なるため、同じ地殻変動であっても見え方に違いが生じます。

なお、これらの結果は気象庁とも共有しており、気象庁発表（5月6日6時時点）の箱根山の火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）と整合するものであることを、気象庁と確認しております。